

ふじかわ

町のメモ

昭和61年2月1日現在	
人口	16,940人
増減	-15人
男	8,351人
女	8,589人
世帯数	4,397世帯
面積	31.09km ²

富士川町 総務課

2月号 昭和61年2月5日発行 No.295



町のことしの目標
 「健康な心とからだに住みよい町に」

おもな内容

- 2~3ページ はたちの春を祝う「250人が大人の仲間入り」、各区駅伝競走大会で南町一・二区チーム連勝、町消防団・郡連合出初式が盛大に
- 4~5 広報ディスカッション
- 6~7 ママさん記者が取材中「町しいたけ生産組合」
- 8 戸籍の窓 短歌会

富士川町民憲章

1. わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって郷土のためにつくしましょう。
1. わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで豊かな町にいたしましょう。
1. わたくしたちは、教養を高め、情操を深めて明るい家庭をきざしましょう。
1. わたくしたちは、奉仕につとめ、力をあわせて住みよい社会をつくりましょう。
1. わたくしたちは、創造と努力によって町の未来をひらきましょう。



はたちの春を祝う

250人が大人の仲間入り

1月15日の「成人の日」に先がけ、5日(日)中央公民館ホールで、「第三十五回富士川町成人式」が、成人者二百五十人の約七八割にあたる百九十五人や来賓約六十人が出席し盛大に行われました。

式典では、まず常葉雅文町長、佐野喜平町議会議長、金指恭三教育委員長からお祝いの言葉が贈られ、続いて新成人者を代表し、望月朋彦・天野千賀子さんが「はたちに思う」を力強く述べられました。

式典終了後も新成人者は、恩師や友人との輪をつくり、親交を深めながらはたちの春を喜びあいました。

はたちに思う



望月朋彦さん (相生町)

本日このように成人式を迎える以前に、まず私が二十歳という年齢について思ったことは「社会への仲間入りを果たすんだ」というより、むしろ「生まれてから二十年たったんだ」という漠然とした感想でした。なぜなら二十歳の誕生日を迎えても、目に見えた生活の変化がなかったからです。しかし、実際はどうかというところ、飲酒、喫煙、または選挙権といった様々な権利を与えられることになりました。

私の友だちの中には、二十歳の誕生日を迎えて「苦節二十年、俺もやっ」と二十歳になったぞ」と、このように喜びをわけのわからない言葉で表現したものもあれば「二十歳という年齢を感じるのには、酒を飲む時と車を運転する時ぐらいだ」という冷めた感想をいった者もいました。

ここでみなさんも自分の二十年間という月日について考えてみて下さい。長かったと感じますか、それとも短かったと感じますか。何を基準にして二十年という月日を測るかによって、長く感じる人もあれば、短かく感じる人もいます。私の場合はというと、小学校や中学校の卒業アルバムを見たりした時などは、何んとも短かく感じます。

また、日本人の平均寿命から考えると、二十年という月日は、それほど

各区駅伝競走大会で南町一・二チーム連勝

1月5日、新成人者の前途に幸多かれと「第二十二回各区駅伝競走大会」が、第二小学校をスタートし、町内を一巡して中央公民館にゴールする十一・七歳の新しいコースで行われました。

参加した十一チームの選手は、成人者が待ち受ける中央公民館をめざし、沿道から暖かい声援をうけながら力走した結果、南町一・二区チームが昨年に続き優勝しました。大会結果は次のとおりです。

◇優勝 南町一・二チーム(39分55秒) ◇二位 宮町Aチーム(40分22秒) ◇三位 北松野二チーム(41分22秒)

町消防団・郡連合出初式が盛大に

1月7日、町消防団(久保田敏男団長・団員百二十九人)の出初式が第一中学校校庭で、引き続き、由比町の由比中学校校庭で、庵原地区消防団員や消防署職員三百三十九人、消防車輛十八台が出場し、庵原郡三町消防連合出初式が盛大に行われました。

町出初式は、新入団員七人や昇進団員九人への辞令交付が、また、連合出初式では、日ごろ消防団活動に活躍された団員などへの感謝状贈呈などが行われ、由比川河原で一斉放水した後、旧国道を分列行進し、日ごろの鍛練ぶりを披露しました。

両式では、次のみなさん他、多数のみなさんが表彰されました。(敬称略)

庵原郡三町消防連合出初式表彰
消防庁長官表彰(賞状及び銀杯の伝達)
◇望月 誠一(南町二) ◇故前林 昭和(坂下) 日本消防協会会長表彰
功績章 ◇井出 稔(南町二) 精績章 ◇故前



天野千賀子さん (大北町)

その子二十歳に流るる黒髪のおごりの春の美しきかな
歌人と謝野晶子に歌われた二十歳の思いに胸をふくらませています。今日からは大人としての権利も自由も認められ、自立の道を歩むのです。しかし、私は学業の半

ど長いものではありません。それです。今まで私たちが経験してきたのも、一生に経験することのほんの一部であるともいえるでしょう。

しかし、そのほんの一部の経験も私たちのこれからの人生の土台となることは確かです。

孔子は、「十五歳で学問をやりうと決心し、三十歳でひとり立ちできるようなった」といっています。では、孔子は二十歳という年齢をどのように思ったのでしょうか。

私が二十歳についていうならば、二十歳を振り返り、自身自身を確実に認識する年齢にしたいと思っています。

ばです。社会的にもまだ一人前ではなく、「二十歳になって一番やりたいことは」と問われても即答できず、キャンパスライフをより充実感のあるものにしてようというしか考えられません。

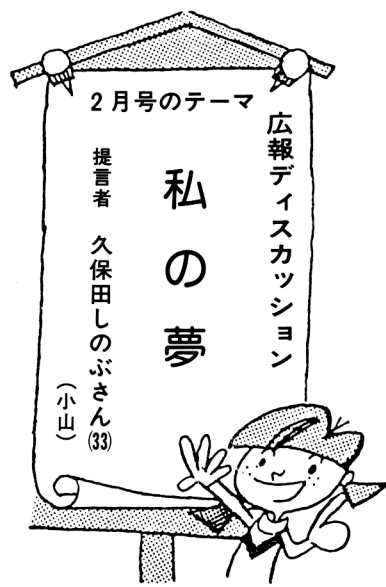
万葉のふるさと奈良で生活を始めて二年近くなります。古い寺々を眺める朝夕に日本文化のすばらしさと重みを感じない日はありません。しかし、あのエンタシスの柱も天平の甍も海に向こうから伝えられ、異国の文化を根に白鳳や天平の文化は花開いたのです。今まさに国際社会といわれています。今後、国際的落伍者にならないために、また、伝統文化を継承する中で、私たち世代の文化を積み上げるために、私たち若者は何をなすべきか、大きな課題を抱えていることを痛感します。一方、目を転じれば情報化は急速に進み、また日の出と日の入りで生活したかつての農村の生活リズムも失われ、二十四時間フル操業です。こうした社会で、判断や選択をして自分の行動を決めていくことが大人になることだと思います。行動のけじめの無さは心のけじめの無さにもつながります。友人の何人かは既に社会で活躍しています。就職も結婚も近い将来のもの

となり。今日からの出会いの一つひとつが、今までは異なっていた意味を持つことでしょう。

この町に生まれて二十年、両親始め多くの方々のいづくしを受け、今日ここに成人の式を迎えることができました。この感謝と喜びを胸に、また、青春という輝かしい翼をもって、私たちは今、はばたこうとしています。厳しい現実を直視し、疲れることも傷つくこともあるでしょう。そんな時代を守り続けてきた田畑や山並に心を癒やされることを、そして、この町が母のふところのぬくもりを持つた町であることを願っています。私の二十歳のつたない感想といたします。



- 林 昭和(坂下)
静岡県消防協会会長表彰
功績章 小林 明(南町二) ◇錦織 務(南町一) 特別功労章 ◇望月 俊一(坂下町) ◇望月 英治(上町) 功労章 ◇浦田 善弘(宮町) ◇谷津倉良幸(室野)
- 町長感謝状贈呈
◇天野みつ子(南町一) ◇室野地区婦人消防隊 新人団員 ○第二分団 ◇望月 克美(旭町) ◇第三分団 ◇佐藤 功(木島) ◇松下 和孝(木島) ◇望月 薫(木島) ◇第四分団 ◇木伏 茂行(富士見町) ◇第五分団 ◇望月 保幸(大北町) ◇石川 豊彦(清水町)
- 青少年健全育成標語(二年生の部) —
○非行は悲しみの色 (一中二年A組 望月 知明)
○とめよう一人をみんなの手で (一中二年A組 田作 紀子)
○君に不良は似合わない (一中二年B組 伊東 智子)
○いけないとわかってはいるはずなのに (一中二年B組 土谷 祐子)
○あなたの目線しつかり前をむいていますか (一中二年C組 望月 洋昭)
○やめよう親に心配かけるのは (二中二年A組 大石 友紀)
○もう一度見直してみよう自分の生活 (二中二年A組 佐野 剛)
○非行の道はしらぬ私の強い心 (二中二年C組 桐山 智晴)
○ちよつとした生活の乱れが悪への一歩 (二中二年C組 石川安佐子)



公民館で三人展を

大北町 佐野好枝さん(51)
 白い紙に濃淡の墨、絵なのか字なのかわからない作品に、それが私の心にいい知れない感動を与えたあの日、有名な書道家の個展のこと。魅力とは、とりつかれるとは、このようなものなのではないか。

文協書道部に籍を置き、良き師、良き仲間恵まれてもう何年になるのでしょうか。毎年文化祭に出品し、清水、静岡と各地の書道展を見学する度に「私もこんなに書けたらなあ」と溜息をつくばかり。
 昨秋、近代技術の粋を集めてオープンした中央公民館で、例

年の文化祭での書道部門に出品、ちよつとばかり気をよくし、これからも頑張らなければと思っています。

実年世代にいつの間に入ってしまった、親しいお友だちでお花の稽古をしているAさん、手先が器用で手芸の得意なKさんと、「ネエーいつか公民館で『三人展』をやろう」とお茶のみ話に楽しい夢を語り合っているのです。

海外旅行を目ざしてグループでの積立てを始めたり、好きな編物に途方もない空想を描いてみたり、人生八十年時代、やりたいこと、夢はいっぱい。今年の書き初めに、大きく「舞」と書いてみました。

エレクトーンの先生に

大楽達 一小三年 下村真有美さん
 私のゆめ、それはエレクトーンの先生になることです。小さい時は、バレリーナやスチュワーデスになりたかったのですが、エレクトーンを習いはじめたころからエレクトーンの先生がいいなと思いました。ですから、かまくらの中で一番好きなのは、もちろん音楽です。
 去年の11月14日、庵原くん小合同音楽発表会に、私たちの

スチュワーデスになって

いろいろな外国へ

相生町 一小三年 植松美幸さん
 私は、大きなゆめから小さなゆめまで、いっぱい持っています。

その一つに、大きくなったらスチュワーデスになりたいというゆめがあります。

お父さんから聞いたオーストラリアの国では、ひ行きから見ると赤い屋根と緑の草原がとてもきれいな話、アメリカのとて高いビルの話、わらぞうりみたいだったというステーキの



話、ピストルの音がしたので行ってみると、人がたおれていたというちよつぱりこわい話もあつたけれど、私もいつて見たいなあと思いました。
 スチュワーデスになって、お父さんよりも、もつといろいろな外国へ行きたいです。
 もう一つにバービー人形の服をいっぱい集めることと、自分



私の学生時代の思い出は、色々ありますが、その中で、小学校の二年生当時のことをまず思い出します。

3月号のテーマ 学生時代の思い出

私は、小学校四年生の女の子と小学校一年生の男の子がおり現在の小学校には校服がありませんので、毎日校服を着て通学しています。また、私たちの身の回りにも着るものが豊富にあります。昭和31年当時は、学校に行くにも、膝にあって継ぎのあるズボンをはいっていくのはごく普通のことでした。私の場合は、特に兄がいましたので、よけいにお古が多かったと思います。
 小学校二年生の頃のことですが、ある日先生が「明日は写真を撮りますので、家に帰ったらお母さんに話をする

緑の中で幸せに

くらせるように

八幡町 二小四年 塩川幹人くん
 ぼくのゆめはけつして不可のうとはいきれない。世界の人協力すれば可のうなことだ。

今、世界は、戦争やはんざいなどばかりで豊かでない。戦争では、何のつみもない人たちが殺されたりする。そういうことがなくなつて、自由ののびのびとした生活ができるようにしたい。

アフリカの一部の子どもは、食べ物がない、うえて死んでしまつてかわいそうだ。アフリカの人にとっては、ぼくたちがぜいたくな生活をしている人を「うらやましいなあ」と思う気持より、十倍も百倍も強いと思う。うえというのは、「ああ、お

じゆうに空をとびたい

小山 一小一年 望月じゅんちゃん
 じゅん子の見るゆめは、いつもふしぎなドアをあけてはいります。じゆうに空をとんで、ふわふわ気分になります。小とりたちとおしゃべりした

り、きょうそうしたり、わたしがしぐもにのつて、たべちやう。空いっぱいならくがきできたからおもしろい。ウルトラだいかいてんもしてみたい。空をとんでいるとなにもこわくないし、なんでもできます。でも、たまにでんしんばしらにぶつかつてしまします。

指輪

新町本町 池田清美さん(34)

日頃は目先のことしか考えず「夢」を忘れていました。いつも夢を持っていました。結婚記念日のお祝いお返しはしませんでしたが、錫婚式を迎えまして。家事と育児に追われてあつた。家に過ぎてしまいました。

指輪のチラシを見てダイヤがいい、ルビーがいいと品定めをしていると、主人に「なんだ欲しいのか」と聞かれ、「べつに要

うみや山もひとつとび。アメリカやせかい中どこへでもとんで、いろんななくにおともだちをさがしたい。ほつきよくのサンタクロースにもあつてきたい。
 ぞうのはなにぶらさがつたり、すべりだいにしてあそんじゃやう。パンダやコアラにもあ

るものじゃないから」と答えて、本当は安いのではないから欲しいんだけどという言葉を飲み込んで、今は太つてはめられなくなつた結婚指輪に幸せな十年間を感謝しています。

話を聞いていた幼稚園の娘が紙とビーズで作つた指輪をプレゼントしてくれました。ダイヤより輝いてみえました。
 二十五年目の結婚式は盛大にお祝いをして、念願の北海道へ旧婚旅行にいきたいと思つています。もちろん新しい指輪をしてね。これが今の私のささやかな夢です。

いたいし、いっしょにあそんだり、さわつたりしてみたい。おなががすいたらひとつとび「うちへくかえろう」
 テーブルのうえにはあつたかいシチューとやきたてのパンがありました。きょうは、空をいっぱいとおなががペコペコで、とてもおいしかった。



3月号のテーマ 「学生時代の思い出」

◎字数 四百字づつ原稿用紙一枚以内
 ◎締切日 2月17日(月)まで
 ◎投稿先・問合せ 富士川町役場総務課 岩淵121番地
 ◎注意事項 匿名者の原稿は掲載しませんが、必ず住所・氏名・年齢を記入して、締切日までに投稿してください。

ママさん記者が取材中



「富士川町しいたけ生産組合」

寒さがとくに厳しい今年の冬にしては、暖かな日となった1月14日(火)、私たち広報モニターは、「富士川町しいたけ生産組合」の組合長渡辺幸一さん(堺町)、副会長谷津倉松彦さん(上町)、原木部長宇佐美啓示さん(木島)を役場にお招きし、組合の活動状況などについてお話をうかがいました。

この組合は、経営不振が続くミカン栽培の転換作物として、昭和48年しいたけ栽培に注目した四人によって結成され発足しました。

発足当時は、岡部町へ何度か

足を運んだり、この土地に合った菌を選ぶのに試行錯誤を繰り返すなどの研究を重ね、なかなか大変だったようです。その甲斐あって一軒あたり二、三千本のホダ木所有も今では二万本位に増え、組合全体の年間生産量は五十〜六十トン位になりました。そして、組合員も十五人に増えました。

この組合の活動内容としては、ダンボールやパックなど資材の共同購入、共同出荷、年に二度の先進地視察、月に一度の研究集会などで、これらの活動費など運営費は、組合員の年会費、町からの助成金、農協からの補助金などでまかなわれています。

しいたけは、ホダ木に植菌してからはやくて一年から一年半ぐらいで収穫できますが、菌まわしの技術によっても生産量に差がでてくるし、気候にも左右されるなどの苦労を重ねています。このように大切に育て収穫寸前のホダ木などをこっそりと盗む人もいるようで、非常に残念なことだと思っています。



モニター(右端)のインタビューを受ける、写真左から宇佐美・谷津倉・渡辺さん

では、一本のホダ木から一鈴収獲できるようにすること(今のところは五百グラムくらい)や冬出しが少ないので一年中出荷できるようにしたいことと、ホダ木に使用する原木のコナラやクヌギが年々減少し、購入競争が激しいので、バイオテクノロジー技術による人工ホダ木の研究を進めることだそうです。

最後に「現在、組合から出荷するしいたけは、東京築地の市場で高い評価を受けていますが、更に最高生産地のレッテルをいただけるよう品質の努力をしたい」と力強く話されていました。(広報モニター 深沢のり子)

歳時記

桃の花

桃の花といえば、まず連想するのが3月3日の雛祭り。この日は桃の節句ともいい、桃の花を飾り、白酒で祝いま

す。それで、桃の花は3月に咲くと思っている人がいるのではないのでしょうか。ところが、桃の花が開くのは4月で、日本ほとんど土地で桜と前後して咲きます。むかし旧暦で雛祭りをやっていたころは、ちょうど桃の咲く時期だったのですが、今では、温室などで特別に早く咲かせたものを飾るわけです。

桃の花の生産が多いのは、埼玉、群馬、福島、桃の実は生産が多いのは、山梨、福島、長野などです。埼玉県の場合は、桃の枝を切って、四日ほど水につけ、その後五〜十日くらい保温してつぼみを大きくしてから出荷するそうです。

日本では「花」といえば桜が代表的ですが、中国では、「花」というと、桃かぼたん



「社会教育あれこれ」は、今月号はお休みします。

家族で話し合おう 交通安全

ライトと反射器材があなたを守る

「街灯が明るいから」と夜中にライトもつけずに自転車で行っている人を見かけます。

ライトは、自分の進行方向を照らすだけでなく、自転車の「存在」を他のドライバーなどに知らせるものであることも忘れてはなりません。

夜間自転車に来るときは、次にあげることを備えていない自転車に乗ってはいけません。

①前方十メートルの道路上の障害物がよく見える明るさであること

②反射器材は百メートル後方から自転車のライトで照らしてよく見えること

あなたを守る

つまり、ライトをつけたり反射器材を整備するのはルールであり、あなた自身を守る大切な「護身具」なのです。

その他にも、明るい色の服を着たり、服に反射器材を用いたりして、命を守る工夫をしましょう。

また、前からくる車のライトが目くらんだときは、道路の左端に止まって対向車の通り過ぎるのを待ちましょう。

「交通安全スローガン」

「ゆずり合う心が無事故の第一歩」

1月の交通事故

人身事故	5件(6)	合計	14件(8)
物損事故	9件(2)		
富士川身延線	3件(4)		
国道一号线	4件(1)		
町道	4件(2)		
県道	3件(1)		
その他	0件(0)		

()は昨年



まちの昔ばなし伝説(六)

富士山信仰(鳥居寄進) 白髪の老人と百助さん

昔、岩瀨の下宿(現在の相生町)に、百助さんという人がいました。百助さんは、いさば屋(乾魚、塩魚などを天秤棒で担って歩く魚屋)で、富士郡の根方地方や富士の上方(かみかた、富士宮市の北部から山梨県に亘る地方)が主な売場で、時には富士山の麓の山深い里まで行きました。

そんなある日、百助さんは、白装束をした白髪の老人に出会いました。老人は百助さんに「お前の持っている魚を全部買ってやるから、ついてきなさい」といって、百助さんを促すと、スタスタと山へ登っていきました。どこまでいくのかな、と思いついて行きますと、とうとう富士山の頂上にきてしまいました。

頂上に着くと、老人は池を掘りました。そして、百助さんの持ついた魚を全部この池に入れますと、不思議なことに塩魚にしてあった魚のな

富士山に鳥居を寄進する行事は、岩瀨鳥居講中によって現在も続けられています。鳥居寄進の発生及び経過についての明確な資料はなく、現在郷土史家によって調査、研究されています。

戸籍の窓

S 60・12・15 S 61・1・14 届出分 (敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄	出生
相生町	小川真瑠実	修自	二女
坂下	若槻真理子	貞次郎	二女
四十九町	杉山夕佳	敏高	二女
宮町	保竹美和	利幸	長女
江口孝明	明	二男	相生町 松本 定男

かなしみ

区名	氏名	年齢
南町一	佐野瑞枝	辰徳 長女
南町二	佐藤彰洋	真也 四男
八幡町	向田慎吾	隆行 長男
富士松野	井出美穂子	昇 長女
清水町	久保田有佳	ゆう 〇
俣下町	小川八重子	四八

一里塚



ついこの間の天気の良い日曜日の午後のできごとでした。

家族そろって山梨の身延山に初参りにいき、健康で何事もなく無事で過ごせるよう祈願し、ついでに交通安全の御守りを買った。また、おみくじも買った。そのおみくじを開いてみるとなんと大吉であり「これは幸先いな」と思い気分良く帰路についた。南部町あたりまで来ると道幅は大変広く、自分の車と目の前のノロノロ運転の車しか

走っておらず、つい右側車線に入りその車を追い越してしまつた。その瞬間、右前方道路脇に待機していたパトカーが目に入り、すぐさま三人の警察官が降りて来て自分の車を止めた。追りて来て自分の車を止めた。追りて来て自分の車を止めた。追りて来て自分の車を止めた。

い越し違反であった。若い警察官が反則金の納付書を記入している間、主任風の警察官と立話をし、身延山にお参りをし、交通安全の御守りを買った。おみくじも買ったら大吉だったことを話すと「そうけ、だからこれくらいですんだんだよ。これを教訓としてこれから注意するんだな」といわれた。納付書を持って自分の車に戻ると妻も警察官

旭町 片田 つる 七八

新町 長谷川せき 八二

宮町 松井 源作 八二

本通一 宮澤 知響 九一

〃 齋藤 聖人 九二

本通四 高橋 幸信 五八

東町二 玉田 義和 七九

富士見町 望月 てつ 五七

かぎあな 平野 ゆう 八八

清水町 久保田有佳 〇

俣下町 小川八重子 四八

お母さんの知恵袋

中学生の子どもたちに、今欲しいものを聞いてみると①パソコン②ビデオ③ステレオ④ラジカセ⑤洋服という答えが返ってきました。

子ども小遣いをためてなかなか買えない高価なものばかりです。それが、クリスマスや誕生日プレゼントとして両親にねだっていつの間にか買ってもらった子どもが多いのです。

今は、何不自由なく育っているのに、なぜ青少年の犯罪が増加しているのでしょうか。

その原因のひとつは小遣いやお年玉が、ずいぶん無造作に与えられていることです。子どもたちは、そのお金で物を買う喜びは知っていますが、そのお金がどうして得られたのかを、まったく知りません。今の子どもたちには、お金をつくり出す喜びを教えないのです。

金の使い方より、お金はどうして得られるのか、家庭の中で、両親の働いている仕事の内容やお金の意味、価値をもつ子どもたちに話してあげるべきではないでしょうか。(婦人会)

富士川短歌会

1月詠草(天野寛選)

相生町 長谷川ゆり子
ひよどりは椿の花をくわえ持ち
冬の木立のひまをよぎれり

本通三 桐谷 静子
木曾谷の妻籠の宿の霧の中虚無
僧の吹く尺八流る

富士市 長橋 安子
みながらに畳の上に正座して初
日を拝む悦びに逢ふ

上町 望月 晴子
北鮮に飢えと病に死にゆるける同
胞埋めし凍てし興南の丘

新町本町 深沢千代子
日だまりの落葉に埋れてふきの
とう早やめぐむなり冬の最中に

宮町 荻野 敏音
膝病めて曲らぬ足をやわらかく
湯舟にたたみ年あらたまる

本通一 望月 録
新年の光あまねきペランダにシ
ヤコバサボテンの白花満つる

四十九町 入月 弘子
正月の里道ゆけば乾きいる白き
畠に葱ゆたかなり

小池 中川しな子
農守り寡婦にも慣れて十年目夫
の忌日の近づきにけり

四十九町 塩川 恒子
ひすがらの水雨はやみて目白二
羽露はじかせて赤実つばむ